

# 令和8年度 公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー 事業計画

## はじめに

観光地域づくり法人として、令和8年度は3年を計画期間とするDMO事業計画の最終年度であり、「歴史的交流都市としてのブランドの進化と郷土愛の醸成」を軸に、博多旧市街や福岡城・鴻臚館などで福岡の長い歴史や豊かな伝統文化の発信を強化し、昼間観光の充実に取り組み、観光産業と地域の活性化を図る。

MICEにおいては、開催地として選ばれるため、魅力向上や多様化するMICEニーズに合わせた支援を行うとともに、大学をはじめとする関係者との連携強化、欧米豪市場の開拓等により国際会議の獲得を目指し、グローバルMICE都市としての地位を高めていく。

また、福岡市の観光・MICEの取組みの方向性を示した「観光・MICE推進プログラム」が改定されたことを踏まえ、当財団の次期計画に向けてもインバウンドに対する市民の満足度向上と質の高い観光の両立を目指し、持続可能な観光・MICEの取組みを行っていく。

★：重点取組

## 1 福岡の魅力づくり

福岡市の歴史・文化・伝統をはじめとした観光資源を活用した魅力づくりを推進するとともに、来訪者のニーズを把握しながら、地域と連携した受入環境の向上に取り組む。

### (1) 地域資源を活かした観光振興

#### ★① 歴史・文化・伝統の観光資源を活かした観光案内・まち歩きの推進強化

市民が主体となり福岡のまちの魅力を伝える観光案内ボランティアガイドや多言語対応ができる「おもてなしサポーター」の育成を図り、国内外から福岡を訪れる観光客の多様なニーズに応えることができるよう活動を支援し、来訪者の満足度向上を図る。

#### ② エリア観光の充実

ア 福岡城・鴻臚館エリアにて、福岡城の新たなシンボルとなった潮見櫓の周辺を散策するユニバーサルツーリズムにも対応した「まち歩き定時ツアー」の実施や、「御城印」の販売促進に取り組む。

イ 博多旧市街エリアにて、寺社仏閣や博多千年門、博多町家ふるさと館などを巡る定時ツアーを実施するほか、新たな体験コンテンツの開発等に向け、「博多旧市街プロジェクト」と連携しながら寺社や地域事業者との関係性の構築を図る。

#### ③ 観光情報の発信

ア 観光情報サイト「よかなび」で観光スポットやイベント情報などを発信する。

イ エリア特性やターゲットを踏まえた福岡市の魅力を海外に向けて発信するための観光グローバルサイトを運用する。

### (2) 観光関連事業者との共同事業

インバウンド観光客のニーズを捉えた観光関連事業者等と連携した取組みにより、インバウンド消費の拡大を図る。

### (3) 祭りの振興

本市の貴重な観光資源である「博多どんたく港まつり」・「博多祇園山笠」などの祭

りや、文化的行事の継続的な振興のための支援を行う。

#### (4) 「福岡検定」の実施

福岡への愛着を深めてもらうとともに、おもてなしの心の醸成を図るため、福岡市、福岡商工会議所との共催により、「福岡検定」を実施する。

#### (5) 受入環境の向上

国内外からの来訪者が、観光案内所（天神・博多駅）を拠点に、安全安心かつ快適に過ごせる受入環境の向上に取り組む。観光案内所（天神）においては、引き続き「食」に特化した専門デスクによる飲食店の予約サポートを行う。

## 2 観光客の誘致

観光関連事業者や地域、関係団体・機関と連携し、国内外からの観光客の誘致を促進する。

#### (1) 宿泊事業者等の人材確保・育成事業

国内外からの観光客の受け入れ環境を充実するため、宿泊事業者等の人材確保・育成に向けた支援を実施する。

- ① 経営者向けセミナー
- ② 宿泊事業者と求職者をつなぐ合同就職説明会
- ③ 大学生向け業界インターンシップ、企業説明会
- ④ 若手の宿泊業従事者等の人材育成プログラム

#### (2) 広域連携誘客事業

##### ① 西のゴールデンルートの推進

西のゴールデンルートアライアンスに参画する自治体・関連民間事業者と共同事業を行う。

##### ② 国内向けプロモーション

「ツーリズムEXPOジャパン2026」への出展を行う。

#### (3) 修学旅行による都市圏周遊の推進

市内に宿泊する修学旅行による周遊観光を推進するため、貸切バス代等の支援や体験学習プログラムの活用促進を図る。

- ① 交通費（貸切バス）の支援
- ② 体験学習プログラムへの参加費支援
- ③ プロモーション（専用サイトの運営・モニターツアー等）

#### (4) 福岡型ワーケーション推進事業

専用サイト「W@F（ワフ）」の運営及びパートナー向け交流会の実施を通じて、ワーケーションを推進する観光関連事業者との情報共有を図るとともに、国内ワーケーションの効果的な情報発信を行う。

## (5) 多様な連携

福岡都市圏や県内の団体、九州各都市や広域観光団体等との連携による共同誘致活動などを行う。

- ① 福岡地区観光協議会、福岡県観光連盟、九州観光機構など観光団体等との連携
- ② 姉妹協会等団体との交流連携

## 3 MICEの誘致及び開催支援

国内外の誘致案件の調査・営業から、主催者のニーズに応じた開催支援、産業振興のためのビジネスコーディネートまで、ワンストップ体制で実施する。

外国人参加者が多く見込め、福岡市のプレゼンス向上に資するC（Convention：大会・学会・国際会議）、経済波及効果が高い大型のM（Meeting：会議）やI（Incentive：報奨・研修旅行）、市内企業のビジネス機会の創出につながるE（Exhibition：展示会・見本市）の誘致を推進する。

### (1) MICE誘致

#### ① コンベンション誘致

世界的に知名度が高く市のプレゼンス向上に繋がる国際会議、また、市の重要施策や強みなどを後押しできる、市民にも分かりやすいなど福岡らしいシンボリックな国際会議の誘致に引き続き取り組む。

★ 国際会議の誘致主体となる大学教授の誘致から開催支援までの伴走支援や大学組織との連携を強化し、国際会議の誘致・開催を促進する。

また、欧州のMICE関係者をターゲットにSNSを活用したマーケティングを継続することで、MICE開催地としての福岡市の知名度向上を図る。

#### ② ミーティング、インセンティブツアー誘致

大型団体の誘致強化を図るとともに、カントリーリスクの回避や経済波及効果の拡大のため、欧米豪や東南アジア（直行便が就航していない国）など、新たなターゲットに向けた誘致活動に重点的に取り組む。

#### ③ 展示会・見本市誘致

展示会・見本市等の主催者が参加する商談会への出展や、福岡での展示会・見本市等の開催可能性が高いターゲットへの集中営業を行い、新規案件の開拓や、展示会主催者の継続支援を行うことで、継続開催・拡張開催を促進していく。

### (2) MICE開催支援

#### ① コンベンション開催支援

国内大型会議・大会や、外国人が多く参加する国際会議に対して、費用の一部を助成する。また、一定規模以上の会議に対して、歓迎バナーや伝統芸能など福岡ならではの歓迎演出を行い、主催者や会議参加者の満足度向上を図ることで更なる誘致促進に繋げる。また、世界約50の国と地域から研究者約4,000人が福岡に集う「アジア・オセアニア地球科学学会」の開催支援に取り組む。

#### ② ミーティング、インセンティブツアー開催支援

ア 海外企業主催のミーティング及びインセンティブツアーに対して、文化体験、記念品などの提供を行い、参加者の満足度向上を図る。

イ 大型団体に対しては助成金を交付し、誘致力の向上を図る。

**③ 展示会開催支援**

市内初開催又は施設の使用面積を拡張して開催する展示会等に対して、会場使用料の一部を助成し、大・中型展示会の開催を促進する。

**④ ユニークベニュー活用支援**

博物館や美術館、神社仏閣など、特別感や地域特性を演出できる場所（ユニークベニュー）を活用して開催されるレセプション等の費用を助成することで、活用を促進し、開催地としての魅力向上を図る。

**(3) MICE人材育成**

将来のMICE業界を担う人材の育成・定着を図るため、MICE主催者や関連事業者の協力のもと、大学生などを対象に、MICE実務に関する講義や運営現場の体験、また、業界への就職につながるよう最終プログラムとして、MICE関連企業合同説明会を実施する。

**(4) 関係機関・団体との連携**

MICE誘致に係る情報収集や共同誘致活動などを行う。

**① 観光庁、日本政府観光局（JNTO）などMICE関係機関・団体との連携**

**② 福岡商工会議所、福岡地域戦略推進協議会、九州経済連合会など地元経済団体との連携**

**③ 業界のグローバルな団体等への加盟**

**4 情報発信・広報、マーケティング**

戦略的な情報発信を行うとともに、観光・MICEに関するトピックなどを情報提供する。

**(1) デジタルマーケティング推進**

**① 観光関連事業者のデジタル対応支援**

国内外からの集客に対応するために、店舗や観光施設のWEBでの情報発信等に向けた支援を行う。

**② 観光データの収集・分析・活用**

来訪者の周遊行動や興味関心等を把握するために、携帯電話の位置情報データの活用や国内外の観光客へのアンケート調査による分析を行い、観光関連事業者へ情報共有を行う。

**(2) 海外への情報発信**

**① SNSを活用した海外への情報発信**

**② メディアへの情報提供、取材支援**

**(3) 広報活動**

**① 観光地域づくりに関する情報共有・理解促進**

**② 財団ホームページによる情報発信**

**③ 機関誌「オーシャンズ・フクオカ」の発行**

## 5 賛助会員・組織運営

観光地域づくりに向けた多様な関係者との合意形成の場づくりのほか、賛助会員の交流機会やサービスを充実させ、新たな会員獲得に向けた取組を行う。

### (1) 賛助会員間の連携促進

観光・MICEの意義や重要性、地域の課題解決に向け、賛助会員と議論・検討する場（パートナーズワーキンググループ）の開催

### (2) 賛助会員交流会の開催

賛助会員間の交流促進のため、PRブースの設置等を行う。

### (3) 賛助会員サービスの提供

- ① マーケティングレポート、コンベンションスケジュールの作成、提供
- ② メールマガジンの配信
- ③ 財団のホームページ、機関誌による会員PR・情報発信